

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名：一般国道14号 ^{りょうごくかくふく} 両国拡幅	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省	関東地方整備局
起終点：自：東京都中央区東日本橋二丁目 至：東京都墨田区緑四丁目	延長	1.9 km	
事業概要 国道14号は、東京都中央区から千葉県千葉市に至る延長約40kmの主要幹線道路である。 両国拡幅事業は、交通混雑の緩和、交通安全の確保、大規模地震時の緊急輸送道路の確保を目的とした延長1.9kmの現道拡幅事業である。			
H10年度事業化	S20年度都市計画決定	H23年度用地着手予定	H一年度工事着手
全体事業費	約250億円	事業進捗率	5%
計画交通量	52,700~55,100台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7	総費用 (残事業/事業全体) 175/189億円	総便益 (残事業/事業全体) 315/315億円
	(残事業) 1.8	事業費：165/179億円 維持管理費：11/11億円	走行時間縮減便益：301/301億円 走行費用減少便益：12/12億円 交通事故減少便益：2.6/2.6億円
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.5~1.8（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.5~1.8（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.6~1.7（事業期間±2年） 【残事業】交通量：B/C=1.6~2.0（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.6~2.0（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.7~1.8（事業期間±2年）			
事業の効果等 (1) 交通混雑の緩和 ・両国拡幅区間がボトルネック（6車線から4車線に車線減少）となり、交通渋滞が発生。 ・両国拡幅区間の損失時間は332千人時間/年・kmであり、全国平均の約13倍。 ・両国拡幅の整備により、交通の円滑化が図られ、渋滞の緩和が見込まれる。 (2) 安全安心な通行の確保 ・両国拡幅区間の死傷事故率は231.7件/億台・kmであり、全国平均の約2倍。 ・両国拡幅の整備により、交通の円滑化が図られ、交通事故の減少が見込まれる。 (3) 緊急輸送道路ネットワークの強化 ・両国拡幅区間は第一次緊急輸送道路に指定されており、地域間の支援活動としてネットワークされる主要路線として位置付けられている。 ・両国拡幅の整備により、震災等が発生した際に、緊急輸送道路として、消防車や救急車などが消火活動、救命活動を行うスペースと緊急輸送を円滑に行うための幅員を確保することができる。			
関係する地方公共団体等の意見 東京都知事の意見：必要な財源を確保し、早期完成に向け、事業を推進されたい。			
事業評価監視委員会の意見 事業の継続を承認する。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 —			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成19年5月に事業計画説明会を計6回開催し、平成21年6月、7月及び平成22年6月、7月に設計用地説明会（墨田区緑1丁目交差点区間・計5回）を実施している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 地元から事業に対する早期整備の要望も多く、今年度から用地着手していく予定である。			
施設の構造や工法の変更等 —			
対応方針	事業継続		
対応方針決定の理由 以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。			

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。